



新村の人口・世帯数  
平成 28 年 1 月 1 日現在  
人口 3,311 人  
世帯数 1,278 世帯



押し絵の申

### スタートダッシュ!

1月1日(金) 毎年恒例の元旦マラソンが開催されました。新村農村広場に約40名が集まり、透きとおるような青空の下、うっすらと雪の残るコースをはつらつと駆け抜けました。

参加者からは「新年の幕開けにいいスタートがきれた」との声が聞かれました。



元旦、走り初め!



町会連合会長  
山口 茂

あけましておめでとうございます。お健やかに新たな年をお迎えのことと思います。日頃新村地区のためにご尽力を頂きまして、ありがとうございます。

昨年はあたらしの郷協議会が立ち上がり、地域振興部会・安全安心部会・いきいき部会・学びの友部会の4つの部会と広報委員会の活動が始まりました。

また、暫く中断していた中部縦貫自動車道協議会の活動が再開したり、平成19年度に防災モデル地区として構築した組織が、あたらしの郷協議会とも関連して、見直された年でした。

新村の地域づくりの推進に向けて、皆様のご協力をお願いします。

### 静岡市庵原地区 視察受入れ

11月28日(土)の午後、静岡市の庵原生涯学習交流館より原館長他12名が「ものぐさ大学」の成り立ちと活動内容・「福祉ひろば」の仕組みなどについて視察研修に来訪した。

原館長より、庵原地区の概要と平成23年から自治会が中心となって組織された「生涯学習交流館」について、また、新村への来訪は交流館での白戸先生(松本大学)の講演内容がきっかけになったと、説明があった。

「ものぐさ大学」「福祉ひろば」の活動内容はDVDの映像で紹介説明をした。地域住民(理事会)が主体となって計画立案・実行している事業の取り組みに大いに関心を示され、地域づくりの方策についても意見交換をした。



熱のこもった意見交換

【ネパール 連邦民主共和国】面積は14・7万km<sup>2</sup>で北海道の約1・8倍。首都はカトマンズ。ヒマラヤ山脈やエベレストがあり、とても自然が豊かな国です。そんな国で昨年4月に起きた大地震をご存知でしょうか? マグニチュード7・8と言われる揺れにより、1万人を超える死傷者が出たと言われています。▼東日本大震災を経験し、実際に東北の被災地での復興支援活動をしてきた学生が、ネパールでの大地震を知り何か出来ることはないだろうか? と先生に提案したことからプロジェクトが始動しました。▼メンバーは学生5名先生1名の計6名と現地との通訳の方含め7名。期間は7日間。実際に現地を訪れ、状況調査や情報収集を行いました。▼地震の規模を知って視察を始めたものの、あまりの被害の大きさとそのままにされている現地の様子を目にし、私たちはショックを受けました。またそれと同時に東日本大震災と比べ、復興が遅れているのだと感じました。

### 八束穂

### 男性の料理教室 「信州・まつもと調理」に挑戦

去る11月26日(木) 男性の料理教室が「まつもと鍋に挑戦」をテーマに開催されました。教室に参加した地域の男性方、開発に携わった松本大生と、共同開発した松本市農政課職員、それに食生活改善推進員の皆さん合わせて30名ほどで賑やかに料理教室が始まりました。まつもと鍋の材料は全てJA松本市とJA松本ハイランド管内生産の農畜産物です。

まず、松本一本ねぎ、それに白菜、ニンジン、ゴボウ、長いも、肉は滅菌環境で飼育されたSPF豚の肉などです。またリングのふじを揺ってほん酢と混ぜた「たれ」を付ければうまさは倍増です。そして「しめ」のおこげ飯の「おじや」も捨てがたいものがあります。

これから続く寒い冬、皆さんも暖かい「まつもと鍋」はいかがでしょう。



腕の見せどころ

### 地区から こんにちは

#### 〈東新地区〉

公民館の新たな地域交流にマレットゴルフ大会を加え、その第1



時間を忘れ、ナイスショット!

回目を昨年の11月7日(土)に信州スカイパークで開催しました。当日は好天に加え、紅葉も見頃で二重に楽しい時間になりました。グループ編成は初心者と経験者を組み合

#### ニユースポフェスIN新村



11月29日(日) 芝沢体育会館にて開催され、今回はニユースポーツの

他、体力診断、足もみ体験を取り入れ、100名近く参加する世代を超えた大きなイベントとなりました。当日ご協力頂いた松本大学呉ゼミの皆さん、河西部をはじめとする松本市スポーツ推進委員の方々には深く感謝いたします。

わせて、進行をカバーしました。又、大会を盛り上げるため少量ですが景品も用意しました。

最初は緊張気味だったものの、競技にも次第に慣れ、あちこちで大きな歓声が聞こえるようになりました。

マレットゴルフは年齢に関係なく楽しめて、親しさを深める効果もあります。

今回は初回ということですが、参加者は20名弱という少人数でしたが、今後、定例開催することで新たな地域交流の場として定着・発展するものと信じています。

#### 福祉講演会

11月14日(土) 町会福祉部主催の講演会が新村公民館で開催され、約100名が参加しました。

小岩井内科クリニクの小岩井俊彦先生をお招きし「主な内科の病気について」と題し糖尿病等のリスクと予防法について講演いただきました。

また、後半では嫁姑の寸劇により、高齢者の特殊詐欺防止を呼びかけました。



大切にしたい「予防」の心

### 松本大学生 ホントアンサー vol.10

Q. 大学生の学校生活を教えてください。

A. 大学生は、中学生や高校生と違い「自由」が沢山あります。

その大きな要因が授業を自分で選べるという点です。高校までは決められた時間割で動くことが基本でしたが、大学では全て自分で時間割を決めなければいけません。つまり自己管理がより求められるようになります。昼間にアルバイトを終えてから学校に来たり、一日中地域活動を行う学生がいるのも、大学特有の時間割のためです。自由で羨ましいと思われる大学生ですが自己管理を怠ると、一瞬にしてその生活は崩壊します。アルバイト中心の生活になり、学校に来ることが出来なくなったり、昼夜逆転してしまったり卒業さえも危うくなる学生もいます。そういった自己管理能力は社会に出てからも重要な視されるので、多くの学生に大学生活の中で身につけてほしいと思います。



### ものぐさ大学 おどろおどろカーキーン

ものぐさ大学の企画として松本市35地区を歩こうと計画し、

まず11月10日初めに波田地区を選出。若澤寺(わかざわでら)石畳歩道を抜け見事な紅葉に癒され波田堰に掛かる水車や野鳥の集う四阿に感動。自然と共に寄り添う人々の想いが胸に染み、外を見て内を見直す手段として他地区巡りはとても有意義なものでした。



記念すべき第1回!

#### 文書館歴史講座

12月16日(水) 鎌田地区に平成26年9月に移転開館した松本市文書館を訪ね、24名が参加した。講師の小松芳郎特別専門委員から、江戸時代から近代までの新村の歴史の変遷を学んだ後、館内の案内をして頂いた。旧新村役場の文書や近世の村役人等の役目を担った家に伝わる古文書も数多く、



地元の歴史に興味津々、書も数多く、しかも最新設備で厳重に保管され、地域の歩みを学ぶ貴重な資料になっている。